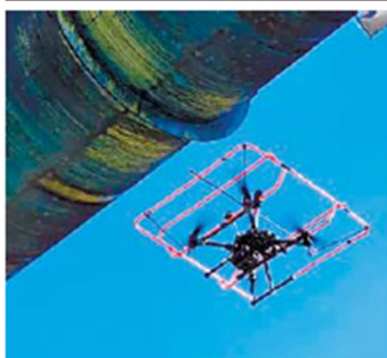


【エイテック 水管橋向け点検ドローンを開発】

水管橋向け点検 ドローンを開発

エイテック

オリエンタルコンサルタンツホールディングスの事業会社であるエイテック（東京都渋谷区、橋義規社長）は、水



管橋向けの点検ドローン「ガードドローン」を開発した。実橋梁の点検に活用し、橋長120mの事例では従来の点検手法である足場設置のおおむね8分の1、ロープアクセスのおおむね2分の1のコストで目視と同等の点検ができることを確認している。

ガードドローンは、対象物

に対し50cmまでの近接飛行が可能で「写真、近接目視と同等の状況把握ができる。また、360度カメラでの動画撮影により損傷位置の特定が容易で、詳細調査や補修工事の際の場所の取り違えを防止できる。同社は、今後も水管橋の効果的な維持管理の実現に向けて、ドローンを活用した点検の実績を重ね、さらなる創意工夫と研究開発を進めていく。

水管橋の維持管理では、2021年10月に発生した和歌山市の水管橋一部崩落事故を受け、おおむね5年に1回以上の点検が義務付けられている。